

[平成22年度]

事業実績報告書

事業名		定款	第9号	事業番号	9-1		
広報・広聴の充実		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	広報紙やホームページ・メールマガジンで情報を広く発信するとともに、モニター制度等で利用者のニーズの把握を図る						
事業区分	1主催事業		対象者				
	1自主事業/2補助事業		会場				
関係団体			部屋名				
			指導員・講師等				
周知	方法	備考			定員(延べ)	人	
	広報紙					団体	
申込み	方法	期間			応募者数	人	
						団体	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	法人会計	事業費			情報提供事業費		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	27,501,000	24,392,899	45,643,000	35,076,200	10,566,800	76.8%
(2)	人件費(円)	-	6,234,055	3,481,000	3,541,216	60,216	101.7%
(3)	総事業費(1)+(2)	27,501,000	30,626,954	49,124,000	38,617,416	10,506,584	78.6%
(4)	事業収益:自主(円)	-	-	16,428,000	6,651,740	9,776,260	40.5%
(5)	" :補助(円)	-	-	3,221,000	1,149,330	2,071,670	35.7%
(6)	財源充当額:自主	-	-	15,011,000	16,865,744	1,854,744	112.4%
(7)	" 額:補助	-	-	8,957,000	9,740,314	783,314	108.7%
(8)	延べ参加者数	-	-	-	-	-	-
(9)	単位費用(円) (6) + (7)/(8)	-	-	-	-	-	-
【目的】 情報の質・量を高め、利用者に対してタイムリーな情報を提供し、利用者の様々な事業への参加機会の拡大と満足度の向上を図る。							
【目標・成果指標】 (1)正確な情報を、わかりやすい適切な表現で、最適な時期、最適な媒体でリリースする (2)広告料収入の向上を目指す (3)広報紙の読者を増加させ、財団の認知度を高める (4)ホームページのアクセス数の拡大を図る							
【課題】 (1)簡潔で見やすい紙面づくり (2)広報紙新規配布ルートの開拓 (3)新規安定広告主の獲得 (4)利用者情報の収集と分析及び、対象別の効果的な情報提供方法の検討 (5)さらに多くの潜在的利用者(区民に限らず都内の幅広い対象)に対する情報提供の拡大 (6)読者及び利用者との双方向のコミュニケーションの充実 (7)多岐にわたる情報を見やすく表示するためのホームページの改良							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: - % (- / -) 前年度比: - % (- / -) < 内訳・内容 > ・財団広報紙「Oh!レガス新宿ニュース」の発行 ページ数・発行回数を拡大し、5日号8ページを年12回、20日号4ページを年5回、年間17回各142,000部発行した。 ・ホームページのリニューアル 旧生涯学習財団と文化国際交流財団のホームページを統合、さらに観光事業等新たな情報を加えるとともに、デザインを一新し、ページの構成を変更し、コンテンツ管理システムを導入した。 ホームページ年間アクセス数:584,145アクセス ・メールマガジンの発行 毎月5日と20日の2回メールマガジンを発行した。 メールマガジン登録者:3588名 ・公演鑑賞モニターについては、一つの事業としては実施せず、各事業や、広報紙・ホームページでのアンケート等により、公演だけでなく幅広い事業に対する区民の意見の聴取を行った。							
【今後の課題】 (1)単なる情報提供に留まらない読み物としての広報紙の紙面づくりの推進 (2)安定的な広告収入確保のための計画的・効果的な広告営業活動の展開および広告料収入向上のためのWeb広告の導入 (3)不特定多数が訪れる区内公共施設以外の施設などへの新規配布先の拡大(営業) (4)ホームページにお客様の意見を集める場を設置、そこでの財団事業に対する意見や要望の聴取を実施							

支出・収益内訳(財源別)

【自主事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議費	13,000			13,000	0	13,000	0.0%
旅費交通費	5,000			5,000	0	5,000	0.0%
通信運搬費	50,000			50,000	0	50,000	0.0%
消耗品費	32,000			32,000	0	32,000	0.0%
印刷製本費	1,133,000			1,133,000	767,556	365,444	67.7%
諸謝金	240,000			240,000	0	240,000	0.0%
委託費	31,992,000			31,992,000	23,419,000	8,573,000	73.2%
人件費	298,000			298,000	273,765	24,235	91.9%
事業費合計(円)	33,763,000			33,763,000	24,460,321	9,302,679	72.4%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
自主事業収益	16,428,000			16,428,000	6,651,740	9,776,260	40.5%
合計(円)	16,428,000			16,428,000	6,651,740	9,776,260	40.5%

【補助事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	77,000			77,000	0	77,000	0.0%
通信運搬費	359,000			359,000	500	358,500	0.1%
消耗品費	861,000			861,000	8,144	852,856	0.9%
委託費	10,881,000			10,881,000	10,881,000	0	100.0%
人件費	3,183,000			3,183,000	3,267,451	84,451	102.7%
事業費合計(円)	15,361,000			15,361,000	14,157,095	1,203,905	92.2%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
補助事業収益	3,221,000			3,221,000	1,149,330	2,071,670	35.7%
合計(円)	3,221,000			3,221,000	1,149,330	2,071,670	35.7%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙に対するアンケートでは、22年度より新しくなった紙面について、概ね好評であった。 ・3月20日号中止による広告料収入減だが、より安定した広告獲得に向けて次年度以降計画し実行したい。 ・ホームページアクセス数については、目標を達成できなかったものの、目標に近い水準に達し、またアクセス数は増加傾向にある。
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第9号	事業番号	9-1-(1)		
広報・広聴の充実 (1)広報紙の発行		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	(1)新財団で統一した広報紙の発行および内容の充実 (2)安定した広告料収入の確保						
事業区分	1主催事業		対象者				
	1自主事業/2補助事業		会場				
関係団体			部屋名				
			指導員・講師等				
周知	方法	備考			定員(延べ)	人	
	広報紙					団体	
申込み	方法	期間			応募者数	人	
						団体	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	法人会計	事業費			情報提供事業費		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	27,501,000	24,392,899	43,617,000	34,236,200	9,380,800	78.5%
(2)	人件費(円)	-	6,234,055	4,080,000	2,680,996	1,399,004	65.7%
(3)	総事業費(1)+(2)	27,501,000	30,626,954	47,697,000	36,917,196	10,779,804	77.4%
(4)	事業収益:自主(円)	-	-	16,428,000	6,651,740	9,776,260	40.5%
(5)	" :補助(円)	-	-	3,221,000	1,149,330	2,071,670	35.7%
(6)	財源充当額:自主	-	-	15,011,000	16,865,744	1,854,744	112.4%
(7)	" 額:補助	-	-	8,957,000	9,740,314	783,314	108.7%
(8)	延べ参加者数	-	-	-	-	-	-
(9)	単位費用(円)(6)+(7)/(8)	-	-	-	-	-	-
【目的】 財団事業についての、情報の質・量を高め、読者に対してタイムリーな情報提供を行い、活動の参加や鑑賞等の機会を提供する。							
【目標・成果指標】 (1)正確な情報を、わかりやすい適切な表現で最適な時期にリリースする。特に外国人広報を兼用しているため、見やすくわかりやすい表現を旨とする。(2)「読みたい・参加したい」魅力ある紙面作り。							
【課題】 (1)簡潔で見やすい紙面づくり (2)広報紙新規配布ルートの開拓 (3)新規安定広告主の獲得 (4)広告料収入前年度比2%アップを目指す							
【今年度の結果】全ページフルカラー 8ページ12回、4ページ5回 計17回発行 <成果指標に対する実績> 達成率: %(/) 前年度比: %(/) <内訳・内容> 財団広報紙「Oh!レガス新宿ニュース」の発行 ・旧新宿文化・国際交流財団広報紙「SPICE」との統合による事業数増加に伴い、ページ数・発行回数を拡大し、5日号8ページを年12回、20日号4ページを年5回、年間17回各142,000部発行した。 20日号は奇数月6回発行の予定であったが、東日本大震災の影響によるレガスまつり中止に伴い3月20日号は発行中止となった。 ・22年度より全ページフルカラーとし、デザイン・ページ配置等の改善を行った。 ・20日号は特定のテーマを設定し、5日号とは違う特色を出した。 ・広告料収入の拡大のために、媒体チラシを作成した。 ・広報紙、ホームページ上で、アンケートを実施し、読者の意見の収集を行った。							
【今後の課題】 (1)単なる情報提供に留まらない読み物としての紙面づくりの推進 (2)安定的な広告収入確保のための計画的・効果的な広告営業活動の展開 (3)詳細なアンケートの実施による効果分析の検討 (4)不特定多数が訪れる区内公共施設以外の施設などへの新規配布先の拡大(営業)							

支出・収益内訳(財源別)

【自主事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
印刷製本費	1,133,000			1,133,000	767,556	365,444	67.7%
委託費	30,306,000			30,306,000	22,579,000	7,727,000	74.5%
事業費合計(円)	31,439,000			31,439,000	23,346,556	8,092,444	74.3%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
自主事業収益	16,428,000			16,428,000	6,651,740	9,776,260	40.5%
合計(円)	16,428,000			16,428,000	6,651,740	9,776,260	40.5%

【補助事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	77,000			77,000	0	77,000	0.0%
通信運搬費	359,000			359,000	500	358,500	0.1%
消耗品費	861,000			861,000	8,144	852,856	0.9%
委託費	10,881,000			10,881,000	10,881,000	0	100.0%
人件費	4,080,000			4,080,000	2,680,996	1,399,004	65.7%
事業費合計(円)	16,258,000			16,258,000	13,570,640	2,687,360	83.5%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
補助事業収益	3,221,000			3,221,000	1,149,330	2,071,670	35.7%
合計(円)	3,221,000	0	0	3,221,000	1,149,330	2,071,670	35.7%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>・3月20日号は発行中止となったが、それ以外の号については、計画通り発行した。</p> <p>・広報紙に対するアンケートにおいても、22年度より新しくなった紙面について、概ね好評であった。</p> <p>・3月20日号中止による広告料収入減だが、より安定した広告獲得に向けて次年度以降計画し実行したい。</p>
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第9号	事業番号	9-1-(2)		
(2)ホームページ・メールマガジンの運営		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	生涯学習財団と文化国際交流財団、観光事業等を含めた新財団のホームページ・メールマガジンによる多種多様な情報を発信する。						
事業区分	1主催事業	対象者					
	1自主事業	会場					
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考		定員(延べ)	人		
	ホームページ メールマガジン				団体		
申込み	方法	期間		応募者数	人		
					団体		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	法人会計	事業費		情報提供事業費			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	2,898,000	2,835,000	1,686,000	840,000	846,000	49.8%
(2)	人件費(円)	-	-	246,000	227,553	18,447	92.5%
(3)	総事業費(1)+(2)	2,898,000	2,835,000	1,932,000	1,067,553	864,447	55.3%
(4)	事業収益(円)	-	-	0	0	0	-
(5)	財源充当額	-	-	1,686,000	840,000	846,000	49.8%
(6)	ホームページアクセス数	-	-	600,000	584,145	15,855	97.4%
(7)	単位費用(円)(3)/(6)	-	-	3	2	1	176.2%
【目的】							
(1)文化・スポーツ、国際交流、観光に至るまで、幅広い情報の質と量を高め、新規読者の獲得や事業参加者の満足度の向上を図る。(2)利用者にタイムリーな学習情報を提供するとともに、ニーズを把握し新たな事業展開に結びつけることにより、利用者の様々な事業への参加機会の充実を図る。							
【目標・成果指標】							
(1)広報紙と連動したサービスを提供する。(2)広告料収入アップのためのWeb広告を導入する。(3)メールマガジン登録者だけの特典や抽選プレゼントを実施し、登録者の増加を図る。(4)ホームページの管理・更新簡素化するために、コンテンツ管理システムやデータベース構成サービスを導入する。 成果目標：ホームページアクセス数年間600,000アクセス							
【課題】							
(1)多岐にわたる情報を見やすくするためのホームページを改良する(2)現状3つあるホームページを、構成・デザイン等を統一させる(3)読者及び利用者との双方向のコミュニケーションを充実させる(4)コンテンツ管理システムの導入を検討し、ホームページの管理や更新を簡素化する							
【今年度の結果】							
<成果指標に対する実績> 達成率:97.3%(584,145 / 600,000) 前年度比: %(/)							
<内訳・内容>							
(1)4月1日の財団統合にあわせて、旧生涯学習財団と文化国際交流財団のホームページを統合、さらに観光事業等新たな情報を加えるとともに、デザインを一新し、ページの構成を変更した。							
(2)ホームページの管理や更新の簡素化のため、各課の広報担当により記事の編集が可能なコンテンツ管理システムを導入した。							
(3)4月1日の大幅なりリニューアル後も、内外の意見を取り入れ、トップページのデザインの変更や全体のページ遷移の変更を行い、見やすく分かりやすいページへの改良を行った。							
(4)毎月5日と20日の2回メールマガジンの発行を行った。 メールマガジン登録者:3588名							
【今後の課題】							
(1)広告料収入向上のためのWeb広告の導入。							
(2)利用者との双方向のコミュニケーションを充実させるための場の提供							
(3)コンテンツ管理システムの利便性の改善							
(4)広報担当による記事投稿の拡大を目的とした、研修やマニュアルの作成。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
委託費	1,686,000			1,686,000	840,000	846,000	49.8%
人件費	246,000			246,000	227,553	18,447	92.5%
事業費合計(円)	1,932,000			1,932,000	1,067,553	864,447	55.3%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・新財団へのホームページの統合およびコンテンツ管理システムの導入を完了した。 ・ホームページアクセス数については、前年度の生涯学習財団の約40万アクセスから大幅に増加し、60万の目標は達成できなかったものの、目標に近い水準に達した。また、今期中もアクセス数は増加傾向にある。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第9号	事業番号	9-1-(3)	
広報・広聴の充実 (3)公演鑑賞モニター		開催日時	通年			
		参加料設定				
内容	公演鑑賞モニターとして18歳以上の区民30名程度を公募し、年間20公演程度の主催事業を鑑賞のうえアンケートを収集。最終的には懇談会を開催して、意見や要望を次年度以降の事業に反映させていく。					
事業区分	1主催事業	対象者				
	1自主事業	会場				
関係団体		部屋名				
		指導員 講師等				
周知	方法	備考		定員(延べ)	人 団体	
	ホームページ メールマガジン			応募者数	人 団体	
申込み	方法	期間		モニター人数	人 団体	
				延べ	0人	
歳出科目	会計	大科目		中科目		
	法人会計	事業費		情報提供事業費		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値		
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異 予算比
(1)	事業費(円)	-	-	340,000	0	340,000 0.0%
(2)	人件費(円)	-	-	42,000	38,204	3,796 91.0%
(3)	総事業費(1)+(2)	-	-	382,000	38,204	343,796 10.0%
(4)	事業収益(円)	-	-	0	0	0 -
(5)	財源充当額	-	-	382,000	0	382,000 0.0%
(6)	モニター人数	-	-	30	0	- 0.0%
(7)	単位費用(円)(3)/(6)	-	-	12,733	-	- -
【目的】						
顧客の嗜好にとらわれない、客観的な意見を求め、事業企画立案・運営に反映する。						
【目標・成果指標】						
年間事業を通年で鑑賞してもらい、各回の感想・意見を集め、次年度以降に反映していく。						
【課題】						
1 モニターの出席率を高め維持する。 2 次年度以降への事業への反映・実行。						
【今年度の結果】						
< 成果指標に対する実績 > 達成率:0%(0/30) 前年度比:-						
< 内訳・内容 >						
財団で実施する各事業においてアンケートを実施。各事業実績報告書に分析結果を記載した。						
【今後の課題】						
今後は単独事業としてでなく、各事業におけるアンケート調査を通じて、区民をはじめとする利用者などの意見の聴取とニーズの調査を継続する。あわせて、参加者及び利用者満足度向上のために、財団ホームページ上に利用者などの意見を集めるコーナーを設置するなどし、事業に対するさまざまな要望を幅広く聴取する方法とその分析方法を検討する。						

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議費	13,000			13,000	0	13,000	0.0%
旅費交通費	5,000			5,000	0	5,000	0.0%
通信運搬費	50,000			50,000	0	50,000	0.0%
消耗品費	32,000			32,000	0	32,000	0.0%
諸謝金	240,000			240,000	0	240,000	0.0%
人件費	42,000			42,000	38,204	3,796	91.0%
事業費合計(円)	382,000			382,000	38,204	343,796	10.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	-	利用者・参加者満足度の向上のために、アンケートの実施・分析方法について引き続き検討を行う必要がある。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第9号	事業番号	9-2		
財団の管理運営		開催日時					
		参加料設定					
内容	公益財団法人の運営(人事・給与・経理・契約・総務)						
事業区分		対象者					
関係団体		会場					
		部屋名					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
			応募者数	人			
申込み	方法	期間	参加者数	人			
			延べ	人			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	96,187,000	77,774,254	76,026,362	41,443,500	34,582,862	54.5%
(2)	人件費(円)		86,098,071	145,171,000	117,833,017	27,337,983	81.2%
(3)	総事業費(1)+(2)	96,187,000	163,872,325	221,197,362	159,276,517	61,920,845	72.0%
(4)	事業収益(円)	14,603,000	14,279,922	13,390,000	11,380,881	2,009,119	85.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	81,584,000	149,592,403	207,807,362	147,895,636	59,911,726	71.2%
(6)	延べ参加者数						
(7)	単位費用(円)(5)/(6)						
【目的】							
(1)第二次経営改革に基づいた計画的な事業遂行により、「民による公益の実現」を図る。							
(2)自立した組織運営に向けた一層の財源基盤強化と質の高い職員の育成							
(3)経営内容の健全・透明化及び情報公開の徹底による社会的信頼の確保							
【目標・成果指標】							
(1)統合後の安定した組織運営確立のための業務効率化の推進							
(2)自主事業の一層の拡充と自主財源の確保により、引き続き補助金依存度の減に努める。							
(3)職員の資質向上・能力開発のための研修内容の充実を図る(職務・職層別メニューの策定)							
(4)公益法人会計基準に則った適正な経理処理と内部統制の実現							
【課題】							
(1)統合後の組織拡大に伴う組織・職員間の緊密な連携と情報の共有化による組織目標達成への意思統一							
(2)コスト意識の徹底による、個別事業の収支改善							
(3)業務内容の拡大に合わせた、計画的な対象者別・業務内容別研修計画の策定と実施							
(4)コンプライアンス規程等の整備による法令遵守精神の徹底							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: % (/) 前年度比: % (/)							
< 内訳・内容 >							
・新宿区生涯学習財団と新宿文化・国際交流財団との機能統合および公益財団法人化に則った定款並びに規程・規則等の策定と新組織の構築。							
・新宿文化・国際交流財団の精算業務完了に伴う残余財産の引継ぎ。							
・公益法人化にともなう会計処理の変更・整理。							
・事業の現状、課題分析に基づいた5ヵ年の経営計画の見直し。							
・ビジネスマナー、内部統制、コンプライアンス、目標管理等の職員研修を実施。							
・外部監査の本格導入。							
・資産運用の具体的方向性の決定。							
・公益財団法人としてのPRについて具体的案策定に着手。							
・平成23年度にさらなる経営基盤の安定を図るため、一般公募による課長職の採用をはじめ、正規職員、契約職員、パート職員の新規採用を実施。							
【今後の課題】							
・「民による公益の実現」のミッション及びコンプライアンス・ガバナンスの徹底。							
・職員研修プログラム、資格取得支援、福利厚生制度の充実。							
・自主事業の開発及び事業の改廃。							
・事務の効率化及び円滑な執行体制の整備。							
・有益な資産活用方法の検討。							
・計画的な職員採用。							

支出・収益内訳

【補助事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
事業総務費 臨時雇用賃金	3,648,000			3,648,000	3,134,027	513,973	85.9%
旅費交通費	404,000			404,000	173,410	230,590	42.9%
通信運搬費	618,000			618,000	618,000	0	100.0%
消耗品費	5,068,000		456,000	4,612,000	3,321,731	1,290,269	72.0%
印刷製本費	0		456,000	456,000	455,385	615	99.9%
燃料費	253,000			253,000	192,823	60,177	76.2%
使用料賃借料	4,475,000			4,475,000	3,491,339	983,661	78.0%
保険料	800,000			800,000	0	800,000	0.0%
租税公課費	420,000			420,000	412,200	7,800	98.1%
一般管理費 役員報酬	1,825,000			1,825,000	845,000	980,000	46.3%
会議費	27,000			27,000	5,036	21,964	18.7%
旅費交通費	497,000			497,000	497,000	0	100.0%
通信運搬費	1,657,000			1,657,000	1,553,614	103,386	93.8%
消耗品費	5,021,000			5,021,000	5,330,550	309,550	106.2%
修繕費	350,000			350,000	225,825	124,175	64.5%
印刷製本費	303,000		299,000	602,000	601,580	420	99.9%
燃料費	85,000			85,000	44,713	40,287	52.6%
使用料賃借料	3,192,000			3,192,000	2,465,805	726,195	77.2%
諸謝金	2,541,000		85,000	2,626,000	1,792,400	833,600	68.3%
租税公課費	3,140,000			3,140,000	267,800	2,872,200	8.5%
負担金	446,000			446,000	43,200	402,800	9.7%
手数料	1,180,000			1,180,000	1,010,994	169,006	85.7%
委託費	11,711,000		384,000	11,327,000	7,890,907	3,436,093	69.7%
雑費	50,000			50,000	45,000	5,000	90.0%
予備費	9,200,000			9,200,000	0	9,200,000	0.0%
人件費	145,171,000			145,171,000	117,833,017	27,337,983	81.2%
事業費合計(円)	202,082,000		0	202,082,000	152,251,356	49,830,644	75.3%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
受取区補助金	566,918,000			566,918,000	477,906,388	89,011,612	84%
受取その他補助金	1,000			1,000	0	1,000	0%
雑収益	144,000			144,000	0	144,000	0%
合計(円)	567,063,000			567,063,000	477,906,388	89,156,612	84%

事業総合評価

アンケート評価基準

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	-	
---------------	---	--

支出・収益内訳

【自主事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
事業総務費 保険料	2,000,000			2,000,000	606,370	1,393,630	30.3%
一般管理費							
一般管理費 旅費交通費	726,000			726,000	4,590	721,410	0.6%
通信運搬費	470,000			470,000	272,607	197,393	58.0%
消耗品費	4,213,000		2,003,000	2,210,000	143,864	2,066,136	6.5%
修繕費	1,736,000		916,000	820,000	12,600	807,400	1.5%
負担金	1,305,000			1,305,000	79,500	1,225,500	6.1%
委託費	9,451,000			9,451,000	5,856,480	3,594,520	62.0%
租税公課費	1,183,000			1,183,000	0	1,183,000	0.0%
減価償却費	900,362			900,362	0	900,362	0.0%
雑費	50,000			50,000	49,150	850	98.3%
事業費合計(円)	22,034,362		2,919,000	19,115,362	7,025,161	12,090,201	36.8%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
特定資産運用益	4,000,000			4,000,000	88,532	3,911,468	2.2%
基本財産運用益	8,501,000			8,501,000	10,839,752	2,338,752	127.5%
受取寄付金	1,000			1,000	0	1,000	0.0%
受取利息	600,000			600,000	391,169	208,831	65.2%
雑収益	144,000			144,000	61,428	82,572	42.7%
寄付金収入	0			0	280,816,275	280,816,275	-
合計(円)	13,246,000			13,246,000	292,197,156	278,951,156	2205.9%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	-	
---------------	---	--

[平成22年度]

事業実績報告書

事業名		定款	第9号	事業番号	9-2-(1)		
財団の管理運営 (1)人事管理・人材育成		開催日時					
		参加料設定					
内容	公益財団法人の運営業務のうち、人事管理・人材育成に関すること						
事業区分	3その他	対象者					
	1自主事業 2補助事業	会場					
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
				団体			
申込み	方法	期間	応募者数	人			
				団体			
歳出科目	会計	大科目	参加者数	人			
	法人会計	管理費	延べ	団体			
				人			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	-	-	7,746,000	2,797,138	4,948,862	36.1%
(2)	人件費(円)	-	-	39,538,000	33,111,052	6,426,948	83.7%
(3)	総事業費(1)+(2)	-	-	47,284,000	35,908,190	11,375,810	75.9%
(4)	事業収益:自主(円)	-	-	-	-	-	-
(5)	" :補助(円)	-	-	-	-	-	-
(6)	財源充当額:自主	-	-	3,109,000	343,155	2,765,845	11.0%
(7)	" 額:補助	-	-	44,175,000	35,565,035	8,609,965	80.5%
(8)	延べ参加者数						
(9)	単位費用(円) (6)+(7)/(8)						
<p>【目的】公益財団法人として「民による公益の実現」を達成するための組織基盤の強化、さらに指定管理者として顧客サービスの向上と財政の効率化を両立させるための組織力の向上を推進していくため、職員のモラル及びモチベーションのさらなる向上と能力開発、組織規模・人員配置の適正化を図る。</p> <p>【目標・成果指標】以下に示す組織使命や組織力向上を達成するための人事・労務管理の徹底、職員研修プログラムの充実、計画的な採用を含む適正な人員配置。公益財団法人としてのコンプライアンス、内部統制の強化。事業の公益性の担保。顧客サービスの向上。財政の効率化と適正な収益の確保。組織構成の適正化。チーム力を生かした事務の効率化。</p> <p>【課題】(1)新公益財団法人及び指定管理者として、職員の能力向上と組織力の強化を図るため、人材育成プランの策定が必要である。(2)平成22年度から継続的に公益認定を受け続ける財団法人として、また組織規模の拡大に伴って、これまで以上にコンプライアンスの強化を重視した人事・労務管理の徹底が望まれる。(3)経営基盤の安定において重要な組織規模を常に検証し、新規採用を含めた計画的な人員配置が必要である。</p>							
<p>【今年度の結果】</p> <p><成果指標に対する実績> 達成率: %(/) 前年度比: %(/)</p> <p><内訳・内容></p> <p>1 新宿区生涯学習財団と新宿文化・国際交流財団を機能統合し、事業の質を低下させることなく、観光事業等も取り入れた総合的な事業を展開するため、全7課にわたる組織を構成した。平成22年度当初は正規職員の新規採用は行わず、契約職員(計24名)、パート職員(4月~7月1日までで計42名)の新規採用を実施し、事業規模の拡大に対応した。また、ガバナンス、コンプライアンスの徹底を目指し、新たな規程、規則等を策定するとともに、事業所ごとに36協定を締結し、課単位で人事労務管理を徹底させる体制をとった。</p> <p>2 平成23年度当初に、さらなる経営基盤の安定を図るため、初めて一般公募による課長職の新規採用(計2名)を実施した。正規職員も一般公募から2名、契約職員からの採用試験合格者2名を新規に採用した。</p> <p>3 中間および年度末に、人事評価実施規則に則って目標管理による人事評価を実施し、職員のモチベーション管理および組織力の強化を図った。</p> <p>4 職員の能力向上と組織力の強化を図るため、ビジネスマナー、内部統制、コンプライアンス、目標管理、問題解決、プレゼンテーション等の職員研修をeラーニングにより実施した。正規職員の受講率は、目標管理(77.8%)、ビジネスマナー(76.6%)、内部統制(53.7%)の順で高かったが、コンプライアンス(34.2%)、プレゼンテーション(27.8%)など、受講率の低い科目もあった。また、各課におけるマネジメントを強化するため、管理職対象の通信教育を実施したが、受講率は18.2%と低かった。</p> <p>5 職員からの豊富なアイデアを財団運営に生かすため、職員提案制度を実施した。平成23年度事業や事務効率等について計139の提案を受けた。平成23年度予算に反映した提案もあり、要綱に基づいて最優秀、優秀等の評価を行い表彰を実施する。平成23年度も引き続き職員からの提案を募り、人材育成、組織力の向上に役立てる。</p>							
<p>【今後の課題】</p> <p>1 経営基盤のさらなる安定を目指し、コンプライアンスおよびガバナンスの徹底を図る。特に内部統制に重点を置き、事業部制による適正かつ効率的な組織運営を目指す。</p> <p>2 平成23年度も引き続きeラーニングによる研修を実施するが、重点科目を絞ったうえで、受講期限を明確にした研修命令により受講率の向上を目指す。また、管離職研修も含め、平成23年度は集合研修や短期集中型民間研修プログラムへの参加などにより受講率および研修成果の向上を図る。</p> <p>3 財団運営にとって有用な資格を取得する意志のある職員に対し、講習会への参加や受験における支援を実施する。</p> <p>4 適正な組織規模を維持するため、平成24年度当初の組織体制に向けた計画的な職員採用を実施する。</p>							

支出・収益内訳(財源別)

【自主事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	718,000			718,000	0	718,000	0.0%
消耗品費	74,000			74,000	47,055	26,945	63.6%
支払負担金	1,225,000			1,225,000	0	1,225,000	0.0%
委託費	1,092,000			1,092,000	296,100	795,900	27.1%
事業費合計(円)	3,109,000			3,109,000	343,155	2,765,845	11.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

【補助事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	62,000			62,000	62,000	0	100.0%
使用料及び賃借料	500,000			500,000	0	500,000	0.0%
諸謝金	200,000		85,000	285,000	255,000	30,000	89.5%
支払負担金	410,000			410,000	9,200	400,800	2.2%
委託費	3,465,000		85,000	3,380,000	2,127,783	1,252,217	63.0%
人件費	39,538,000			39,538,000	33,111,052	6,426,948	83.7%
				0			
事業費合計(円)	44,175,000		0	44,175,000	35,565,035	8,609,965	80.5%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	-	
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第9号	事業番号	9-2-(2)	
財団の管理運営 (2)給与		開催日時				
		参加料設定				
内容	公益財団法人の運営業務のうち、人事・給与に関すること					
事業区分	1主催事業	対象者				
	2補助事業	会場				
関係団体		部屋名				
		指導員 ・講師等				
周知	方法	備考		地区大会		
				中央大会		
申込み	方法	期間		延べ		
歳出科目	会計	大科目		中科目		
	法人会計	管理費		給与		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値		
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異
(1)	事業費(円)			2,061,000	0	2,061,000
(2)	人件費(円)			21,477,000	19,485,316	1,991,684
(3)	総事業費(1)+(2)			23,538,000	19,485,316	4,052,684
(4)	事業収益(円)					
(5)	財源充当額(3)-(4)			23,538,000	19,485,316	4,052,684
(6)	延べ参加者数					
(7)	単位費用(円)(5)/(6)					
【目的】公益財団法人及び指定管理者として安定的な組織・財務基盤を確立するとともに、様々な職層、業務内容を持つ職員のモラルを継続的に維持・向上させ、組織力を高めていくための給与体系を確立する。						
【目標・成果指標】 1職層、業務内容、勤務成績等に応じた確かな給与体系の構築。 2社会情勢の変化、他の外郭団体、民間団体との比較・分析による適正な給与の設定。 3職員のモラル、モチベーションの継続的維持・向上に役立つ業績評価、人事評価の給与体系への反映。 4正確かつ効率的な給与支給システムの確立。						
【課題】 1公益財団法人及び指定管理者として、経営基盤の安定に繋がる給与体系について、引き続き検討が必要。 2人事評価制度と給与体系の連動について、引き続き検討が必要である。 3組織規模の拡大に伴い、給与支給事務の効率化を図る必要がある。						
【今年度の結果】 <成果指標に対する実績> 達成率: %(/) 前年度比: %(/) <内訳・内容> 1 これまで給与計算業務については業者委託というかたちをとっていたが、平成22年度は新たに給与システムを導入し、当財団の職員が給与計算業務を行った。移行当初はシステムの設定、操作方法の習得等で時間を費やしたが、徐々に効率的に事務を執行できるようになった。 2 区職員の給料改定に伴い、固有職員給料表の改正を行った。						
【今後の課題】 1 職員に対する福利厚生制度のさらなる充実を図る。平成23年度は40歳以上に正規職員に対し、人間ドックの受診を支援していく予定である。 2 組織規模の拡大に対応するため、給与事務のさらなる効率化を推進する。 3 中・長期的な視点に立った財務運営と、職員のモチベーション管理の両立を図るため、今後の給与体系についてさらなる検討を行う。						

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費	5,000			5,000	0	5,000	0.0%
委託費	2,056,000			2,056,000	0	2,056,000	0.0%
人件費	21,477,000			21,477,000	19,485,316	1,991,684	90.7%
事業費合計(円)	23,538,000			23,538,000	19,485,316	4,052,684	82.8%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	-	アンケート徴収せず。
---------------	---	------------

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	事業番号	9-2-(3)		
財団の管理運営 (3)予算・決算・財務・経理・契約		開催日時				
		参加料設定				
内容	公益財団法人の運営業務のうち、財務・経理・契約に関すること					
事業区分	対象者					
	会場					
関係団体	部屋名					
	指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人 団体		
			応募者数	人 団体		
申込み	方法	期間	参加者数	人 団体		
			延べ	人		
歳出科目	会計	大科目	中科目			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値		
項目	予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1) 事業費(円)			16,849,362	10,647,887	6,201,475	63.2%
(2) 人件費(円)			40,848,000	36,332,127	4,515,873	88.9%
(3) 総事業費(1)+(2)	0	0	57,697,362	46,980,014	10,717,348	81.4%
(4) 事業収益(円)			0	0	0	
(5) 財源充当額(3)-(4)	0	0	57,697,362	46,980,014	10,717,348	81.4%
(6) 延べ参加者数						
(7) 単位費用(円)(5)/(6)						
【目的】(1)財源基盤の強化による、安定的・継続的な組織運営及び事業展開 (2)会計処理の透明性確保による、公益財団法人としての信頼確保 (3)業務内容及び手続の見直しに伴う適正な契約事務の履行						
【目標・成果指標】 (1)収益性の高い自主事業の開発及び、「選択と集中」の効果的な経費配分による費用対効果の向上を図る。 (2)寄附金収入など事業参加料以外の収益の強化を図る。 (3)監査法人・税理士との連携による財務・会計処理の不断の見直しと関連事務の効率化を図る。 (4)契約内容の定期的な見直しにより、経費節減と業務水準維持の両立を図る。						
【課題】 (1)的確な事業分析とコスト意識(事業人件費・会場使用料等シャド-コスト含む)の徹底による自主事業計画の策定 (2)期中の効果的な資産運用並びに寄附金収入の獲得についての計画的な取組みの実施 (3)会計処理の迅速化及び内部諸規程の整備						
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: %(/) 前年度比: %(/) < 内訳・内容 > ・(財)新宿文化・国際交流財団との統合による清算・決算処理 ・公益法人化にともなう会計処理の変更・整理 ・事業の現状、課題分析に基づいた5ヵ年の経営計画の見直し ・外部監査の本格導入 ・資産運用の具体的方向性の決定 ・中間決算の実施						
【今後の課題】 ・公益財団法人としての円滑な会計事務の執行体制の整備 ・公益財団法人に相応しい予算管理におけるコンプライアンスの徹底 ・より有益な資産運用を目指した、綿密で継続的な資産活用方法の検討						

支出・収益内訳

【自主事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
一般管理費 租税公課費	1,183,000			1,183,000	0	1,183,000	0.0%
委託費	5,042,000			5,042,000	3,780,000	1,262,000	75.0%
減価償却費	900,362			900,362	0	900,362	0.0%
事業費合計(円)	7,125,362			7,125,362	3,780,000	3,345,362	53.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
寄付金収入	0			0	280,816,275	280,816,275	-
合計(円)	0			0	280,816,275	280,816,275	-

【補助事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
事業総務費 租税公課費	420,000			420,000	412,200	7,800	98.1%
一般管理費 通信運搬費	86,000			86,000	68,750	17,250	79.9%
消耗品費	642,000			642,000	449,408	192,592	70.0%
使用料・賃借料	1,928,000			1,928,000	1,765,050	162,950	91.5%
諸謝金	1,456,000			1,456,000	1,037,400	418,600	71.3%
租税公課費	3,130,000			3,130,000	267,800	2,862,200	8.6%
委託費	882,000			882,000	1,856,285	974,285	210.5%
手数料	1,180,000			1,180,000	1,010,994	169,006	85.7%
人件費	40,848,000			40,848,000	36,332,127	4,515,873	88.9%
事業費合計(円)	50,572,000			50,572,000	43,200,014	7,371,986	85.4%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
受取区補助金	566,918,000			566,918,000	477,906,388	89,011,612	84%
受取その他補助金	1,000			1,000	0	1,000	0%
合計(円)	566,919,000			566,919,000	477,906,388	89,012,612	84%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	-	
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第9号	事業番号	9-2-(4)	
財団の管理運営 (4)総務・庶務・文書		開催日時				
		参加料設定				
内容	公益財団法人の運営のうち、総務・庶務・文書に関すること					
事業区分	対象者					
	会場					
関係団体	部屋名					
	指導員・講師等					
周知	方法	備考		定員(延べ)	人	
					団体	
申込み	方法	期間		応募者数	人	
					団体	
歳出科目	会計	大科目		参加者数	人	
				延べ	団体	
単位費用		前年度決算値		今年度決算値		
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異
(1)	事業費(円)			49,790,000	27,998,475	21,791,525
(2)	人件費(円)			43,308,000	28,904,522	14,403,478
(3)	総事業費 (1)+(2)	0	0	93,098,000	56,902,997	36,195,003
(4)	事業収益(円)			13,390,000	11,380,881	2,009,119
(5)	財源充当額 (3)-(4)	0	0	79,708,000	45,522,116	34,185,884
(6)	延べ参加者数					
(7)	単位費用(円) (5)/(6)					
【目的】 法人業務全体の執行管理と企業運営に必要な各種基盤整備						
【目標・成果指標】 ・法人業務スケジュールの一元管理による進捗状況の的確な把握と、事業執行状況のチェック体制確立 ・法令遵守及び危機管理体制の確立 ・法人認知度の向上による「財団ブランド」の確立						
【課題】 ・今後の業務拡大に対応可能な組織体制づくりのための、各種事務処理方法の整理及びルーチン化による効率的な事務処理体制の実現体制の実現 ・危機管理体制の強化並びに、企業倫理及び法令遵守精神の徹底のための行動規範マニュアル策定 ・法人業務についての積極的な外部発信及び、PR・渉外活動強化のための中・長期計画の立案						
< 成果指標に対する実績 > 達成率: %(/) 前年度比: %(/)						
< 内訳・内容 > ・公益財団法人としてのPRについて具体的案策定に着手 ・(財)新宿文化・国際交流財団との統合および公益財団法人化に則った定款ならびに規程の改正と新組織の構築						
【今後の課題】 ・「民による公益の実現」のミッションの徹底 ・収支効率に優れた自主事業の開発及び社会環境の変化に適合しない事業の改廃 ・公益財団法人として必要となる事務の円滑な執行体制の整備 ・公益財団法人に相応しい事業執行におけるコンプライアンスの徹底						

支出・収益内訳

【補助事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
事業総務費 臨時雇用賃金	3,648,000			3,648,000	3,134,027	513,973	85.9%
旅費交通費	404,000			404,000	173,410	230,590	42.9%
通信運搬費	618,000			618,000	618,000	0	100.0%
消耗品費	5,068,000		456,000	4,612,000	3,321,731	1,290,269	72.0%
印刷製本費	0		456,000	456,000	455,385	615	99.9%
燃料費	253,000			253,000	192,823	60,177	76.2%
使用料賃借料	4,475,000			4,475,000	3,491,339	983,661	78.0%
保険料	800,000			800,000	0	800,000	0.0%
一般管理費 役員報酬	1,825,000			1,825,000	845,000	980,000	46.3%
会議費	27,000			27,000	5,036	21,964	18.7%
旅費交通費	435,000			435,000	435,000	0	100.0%
通信運搬費	1,571,000			1,571,000	1,484,864	86,136	94.5%
消耗品費	4,374,000			4,374,000	4,881,142	507,142	111.6%
修繕費	350,000			350,000	225,825	124,175	64.5%
印刷製本費	303,000		299,000	602,000	601,580	420	99.9%
燃料費	85,000			85,000	44,713	40,287	52.6%
使用料賃借料	764,000			764,000	700,755	63,245	91.7%
諸謝金	885,000			885,000	500,000	385,000	56.5%
租税公課費	10,000			10,000	0	10,000	0.0%
負担金	36,000			36,000	34,000	2,000	94.4%
委託費	5,308,000		299,000	5,009,000	3,906,839	1,102,161	78.0%
雑費	50,000			50,000	45,000	5,000	90.0%
予備費	9,200,000			9,200,000	0	9,200,000	0.0%
固定資産取得費	420,000			420,000	0	420,000	0.0%
人件費	43,308,000			43,308,000	28,904,522	14,403,478	66.7%
事業費合計(円)	84,217,000		0	84,217,000	54,000,991	30,216,009	64.1%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
雑収益	144,000			144,000	0	144,000	0.0%
合計(円)	144,000			144,000	0	144,000	0.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	-	
---------------	---	--

支出・収益内訳

【自主事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
事業総務費 保険料	2,000,000			2,000,000	606,370	1,393,630	30%
一般管理費							
一般管理費 旅費交通費	8,000			8,000	4,590	3,410	57%
通信運搬費	470,000			470,000	272,607	197,393	58%
消耗品費	4,139,000		2,003,000	2,136,000	96,809	2,039,191	5%
修繕費	1,736,000		916,000	820,000	12,600	807,400	2%
負担金	80,000			80,000	79,500	500	99%
委託費	3,317,000			3,317,000	1,780,380	1,536,620	54%
雑費	50,000			50,000	49,150	850	98%
固定資産取得費	300,000			300,000	0	300,000	0%
事業費合計(円)	11,800,000	0	2,919,000	8,881,000	2,902,006	5,978,994	33%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
特定資産運用益	4,000,000			4,000,000	88,532	3,911,468	2%
基本財産運用益	8,501,000			8,501,000	10,839,752	2,338,752	128%
受取寄付金	1,000			1,000	0	1,000	0%
受取利息	600,000			600,000	391,169	208,831	65%
雑収益	144,000			144,000	61,428	82,572	43%
合計(円)	13,246,000	0	0	13,246,000	11,380,881	1,865,119	86%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)		
---------------	--	--